

第86回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2022年8月17日 19:30-20:35 ZOOM会議

2 参加者

飯田和也、市川、岩田、川村、小林、瀧上、田口、富樫、丹羽、藤原、南島、宮嶋、矢島、
(地理) 秋本、井田、高橋、中山、(オブザーバー) 阿部

3 協議

(1) 教科書・学習指導要領分析に関する今後の活動【提案内容は議事録末に再掲】

7/30 提案の今後の進め方について、概ね了承した。

【付帯意見】

- ・他教科(保健など)での内容を踏まえた上で、防災教育での社会、理科での役割を検討してはどうか。
- ・理論だけでなく防災訓練など実践への提言を加えてみてはどうか。
- ・学習指導要領の検討は小中で終わらず高校まで見ていく必要があるのではないか。

(2) 今後の活動に関する具体的な進め方と担当、工程表

○検討の進め方について

学習指導要領及び教科書検討に関するWGを設けて、手分けして検討を行い、その後、全体で情報を共有するという提案を了承した。

【付帯意見】

- ・学習指導要領WGは文科省への、教科書検討WGは教科書会社へのアプローチや情報収集を担う必要が出てくるであろう。
- ・学習指導要領の検討は文科省だけでなく、その他の省庁の動きなども視野に加える必要がある
- ・教科書検討は各教科書会社の方針などを踏まえて検討していく必要がある。

○工程表について

まずは防災教育とは何かについて理解を深めてから、2022年12月をめどに各WGごとに検討を行い、現行の学習指導要領及び教科書の内容について問題点を洗い出すことを了承した。

【付帯意見】

- ・2024年度のパブリックセッションでは、ここでの議論をまとめたものを示す場にできればよい。
- ・教科教育内での防災教育を扱うのか、学校教育での防災教育まで手を出すのか、整理が必要である。
- ・小学校の学習指導要領への提言は来年度中でないと間に合わないのではないか。小学校の学習状況実施調査は今年度秋から始まっている。
- ・小中学校では防災教育は「特別活動」で扱う。
- ・防災教育の目安:「学校の安全教育のてびき」の中に記載がある
- ・地学と地理の内容の重なりが増えるといずれ、地学がなくなるのではと危惧している。

4 次回小委員会

(内容) ①各WGのメンバー及びチーフの決定、②防災教育の内容について理解を深める

(日程) 9月中に開催できるように、至急日程調整を行う。

【参考】教科書・学習指導要領分析に関する今後の活動(7/30提案)

(目的)

- ・次期学習指導要領での望ましい学習内容および教科書の実現
- ・地理と地学で重複する内容を含む「防災」に限定して、JpGUとして推奨する望ましい用語や内容を策定する
- ・今回扱う内容は小中学校の「防災」に関わるものとする

(具体的目標)

- ・文科省への提言或いは(もしくは及び)教科書会社への推奨案の提案(2024年8月末まで)

(具体的方策)

- ・小委員会として、現行の小中学校の防災に関する地理的分野及び地学的の理解
- ・学習指導要領およびそれに基づく教科書の内容検討
- ・教科書会社からの意見聴取や交換を行う

(設定理由)

- ・ 地理及び地学で構成される小委員会であるから、両者に共通の領域である防災に関して検討を進める。
- ・ 次期指導要領改訂に向けて影響力を及ぼそうとすると、残された時間が限られている。防災以外の小中学校地理的及び地学的分野、高校地理及び地学の内容を検討している余裕はない。